

2024年12月13日
日本貨物鉄道株式会社

輪軸交換作業における取扱い誤りについて

輪軸組立作業において不正があった車両を運用復帰するため、輪軸の交換作業を実施しているところですが、その取扱いに一部誤りがあり、輪軸交換が必要な状態のまま貨車が走行していたことが判明しました。

このたびは信頼回復に努めている中でこのような事案が発生し、関係の皆さまにご心配ご迷惑をおかけしてしまいましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

今回の取扱い誤りを重く受け止め、再発防止の取り組みを徹底してまいります。

1. 判明日 : 2024年12月11日(水) 11時30分頃

2. 発生場所 : JR貨物 関東支社 隅田川機関区

3. 概況

11月14日に隅田川機関区で輪軸交換作業(2軸)を行った貨車(1両)について、本来交換すべき輪軸と異なる輪軸を交換していたことが判明しました。当該貨車は、北旭川駅12月11日発の82~3082~5087列車に連結されており、青い森鉄道線青森信号場付近を走行していたことから、東青森駅にて臨時解放作業を実施し、運用停止しました。

4. 車両

コキ107-1282号車

前回定期検査実施日 2024年11月14日

前回定期検査実施箇所 隅田川機関区

5. 経緯

(1) 11月14日(木)、輪軸組立作業において不正があった車両の運用復帰にむけて、隅田川機関区にて当該車両の輪軸交換作業を実施しました。取り外された輪軸(圧入値が上限値を超えていた輪軸)は交換作業後に川崎車両所に搬入され、正しく輪軸が交換されたことを確認していたところ、本来隅田川機関区で交換すべき輪軸(第1軸・第3軸)と異なる輪軸(第3軸・第4軸)が搬入されたことが判明しました。

- (2) 本事案判明時、当該貨車は、第 82～3082～5087 列車（北旭川駅発 百済貨物ターミナル駅着）に連結され、青い森鉄道線青森信号場付近を走行していたことから、最寄りの東青森駅に臨時に停車させ、当該貨車の臨時解放作業を実施しました。
- (3) 当該車両は、臨時解放作業後、東青森駅構内において輪軸の探傷検査を行い、安全性を確認しております。
- (4) なお当該貨車は輪軸交換後、11月17日に運用に復帰し、12月11日に至るまでに主に函館線、東北線、東海道線、山陽線を走行していたことを確認しました。

6. 原因

2024年11月14日に隅田川機関区で行った輪軸交換作業において、本来、交換すべき輪軸の部位（第1軸・第3軸）と異なる部位（第3軸・第4軸）の交換を行いました。原因は交換作業を行った際、作業指示者が指示した内容を作業者が誤認し作業を行ったことと、作業指示者及び現場管理者が行う作業終了後の確認が適切に行われていなかったためです。

7. 対策

- (1) 輪軸交換作業において、作業者及び現場管理者は、帳票による確認に加え、交換する輪軸の固有番号を対物で確認することとします。
- (2) 現場を所管する担当部署は、輪軸取替の落成報告を受けた際に、報告された帳票と担当部署が管理するシステムに登録された内容との照合を行います。

8. その他

当該貨車以外の輪軸交換作業を行った貨車 445 両については、正しい部位の交換作業が行われていることが確認できています。

以上